

ズーラシアの動物たち 〈マレーバク〉

東南アジアの熱帯雨林に生息し、白黒のツートンカラーの体色が特徴のマレーバク。近年森林開発などによる生息地の減少から絶滅が危惧されていて、日本でペアになっている園では積極的な繁殖に取り組んでいます。

生まれた時は黒地に白い斑点が入っていますが、約3カ月でツートンカラーの体色に変化します。体が小さい時は、森の中の木漏れ日に擬態して天敵から身を守っていると考えられています。

今年6月にズーラシアに来たメスのロコは、ちょっと臆病な性格で最初は緊張していましたが、数日で新しい環境に慣れたようで、新たなペアで繁殖を目指すオスのカイムと柵越しに匂いを嗅ぎ合ったり、お互いに鳴き合ったりする様子も見られました。

今後はロコの様子を見ながら展示場に出る練習をし、カイムとの同居を進めます。ロコとカイムの2頭を温かく見守ってください。



餌を食べてホッと一息のロコ



柵越しにお見合い中のカイムとロコ

横浜市旭区上白根町1175-1 TEL.045 (959) 1000
開園時間／ 9:30 ～ 16:30 (入園は16:00まで)
休園日／火曜 (祝日の場合は開園、翌日休園)



よこはま動物園

ズーラシア

▶ 鶴ヶ峰駅または三ツ境駅からバスで約15分

最新の情報は、ズーラシアのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>



ズーラシアの動物たち 〈テングザル〉

ボルネオ島のみにも生息し、てんぐのような鼻が特徴のテングザル。日本では、ズーラシアだけで飼育されています。

2009年から繁殖と飼育に取り組み、今年1月の4回目となる出産で、オスの赤ちゃんが誕生しました。1回目は残念ながら3歳で死んでしまいましたが、飼育方法を改善した結果、その後に誕生した赤ちゃんは元気に育っています。母親のキナンティーと父親のゲンキは、初めてのペアながら昔からのパートナーのような仲むつまじい姿を見せています。

赤ちゃんの名前が「ココ」に決まり、みんなにかわいがられています。ぜひ、テングザルの子育ての様子を見に来てください。



ココと母親のキナンティー



仲むつまじい姿



横浜市旭区上白根町1175-1 TEL.045 (959) 1000
 開園時間／ 9:30 ～ 16:30 (入園は16:00まで)
 休園日／火曜 (祝日の場合は開園、翌日休園)
 ▶ 鶴ヶ峰駅または三ツ境駅からバスで約15分

最新の情報は、ズーラシアのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>



ズーラシアの動物たち 〈ゴールデンターキン〉

中国の国家一級重点保護野生動物に指定されているゴールデンターキン。成長したオスが金白色の毛並みを持つことから「ゴールデン」の名が付けました。ズーラシアでは、2月22日にオスの赤ちゃんが生まれました。母親のメイ(3歳)は初産ながらとても落ち着いていて、しっかり子育てをしています。赤ちゃんはすくすくと成長し、3月21日に一般公開が始まりました。まだ小さいながら、崖を昇り降りするなど活発な姿を見せています。名前は来園者の投票により、誕生当日に「はやぶさ2」が小惑星リュウグウへの着陸に成功したのではやぶさ属の学名 *Falco* から「ファルコ」となりました。ぜひファルコが成長する様子を見に来てください。



母親のメイとファルコ



崖を駆け降りるファルコ



よこはま動物園

ズーラシア

横浜市旭区上白根町1175-1 TEL.045 (959) 1000
 開園時間／9:30～16:30(入園は16:00まで)
 休園日／火曜(祝日の場合は開園、翌日休園)
 ▶鶴ヶ峰駅または三ツ境駅からバスで約15分

最新の情報は、ズーラシアのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>



ズーラシアの動物たち 〈ボルネオオランウータン〉

マレー語で「森の人」を意味する「オランウータン」。そのまなざしからは、人に近い種であることが感じられます。

現在、オランウータンの運動場をリニューアルしています(公開休止中)。3カ所設置したウッドデッキに消防用ホースを渡し、握力300kgを誇る「森の人」が消防用ホースを渡る姿を観察できるように、新たにガラス観覧ビューを増設する予定です。

公開再開は今春を予定していますので、リニューアルした新しい運動場で、のびのびと過ごすオランウータンにぜひ会いに来てください。



オランウータンのまなざし



リニューアル前の運動場



横浜市旭区上白根町1175-1 TEL.045 (959) 1000
開園時間 / 9:30 ~ 16:30 (入園は16:00まで)
休園日 / 火曜 (祝日の場合は開園、翌日休園)

▶ 鶴ヶ峰駅または三ツ境駅からバスで約15分

最新の情報は、ズーラシアのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>



ズーラシアの動物たち 〈アカカワイノシシ〉

2019年の干支は^{えと}イノシシ。ズーラシアではアカカワイノシシを飼育していて、その名前の由来は「赤毛の川辺にすむイノシシ」です。アフリカに群れで生息していて、特徴はきれいな赤褐色の毛並みとツインテールのような耳の飾り毛。兄弟で並んで眠る姿を見ていると癒やされます。鼻で物を持ち上げる力が強く、よく運動場でも鼻で土を掘り返しています。また、鳴き声は甲高く、耳を澄ませると鳴き合っているのが聞こえます。



ツインテールのような耳の飾り毛



並んで眠る姿に癒やされます

お土産紹介

「おえかきずかん」

38種類の動物をお絵描きしながら、それぞれの特徴を楽しく学べる「おえかきずかん」(1,296円)です。アカカワイノシシも載っています。



横浜市旭区上白根町1175-1 TEL.045 (959) 1000
開園時間／9:30～16:30(入園は16:00まで)
休園日／火曜(祝日の場合は開園、翌日休園)
▶鶴ヶ峰駅または三ツ境駅からバスで約15分

最新の情報は、ズーラシアのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>



ズーラシアの動物たち 〈インドライオン〉

インドの一部の森に生息するインドライオンは非常に数が少なく、希少な動物です。そのインドライオンを、日本で初めてズーラシアが飼育し、これまでに5頭の赤ちゃんが大人になりました。昨年5月には、シンガポールの動物園から「バドゥリ」(オス)が来園。当初は新しい環境に警戒していましたが、今ではリラックスして過ごしています。現在、ズーラシアには3頭のインドライオンがおり、健康管理の一環で行う採血を、麻酔をかけずに尻尾しっぽから行うトレーニングをしています。動物園の裏側では、動物たちの健康を守るために、日々さまざまな取り組みが行われています。



運動場でリラックスして過ごす「バドゥリ」



尻尾から採血するトレーニングの様子

横浜市旭区上白根町1175-1 TEL.045 (959) 1000
 開園時間／9:30～16:30(入園は16:00まで)
 休園日／火曜(祝日の場合は開園、翌日休園)



▶三ツ境駅または鶴ヶ峰駅からバスで約15分

最新の情報は、ズーラシアのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>



ズーラシアの動物たち 〈アカカンガルー〉

オーストラリアの草原などに群れで暮らしているアカカンガルー。体の色はオスが茶褐色、メスは灰色です。お腹のポケットで子どもを育てることが有名ですが、生まれたばかりの赤ちゃんはたった1gしかなく毛も生えていません。そんなカンガルーは大きな後ろ足と太い尾を使って、約8メートルもの距離を一度にジャンプすることができます。また、時間や季節ごとに、いろいろな行動を見せます。例えば、雨が苦手なカンガルーたちは屋根のある小屋の下で互にくっつき合いながら雨宿りします。ときには、オス同士が立ち上がってキックボクシングをしますが、その様子は迫力満点です。



雨宿りするアカカンガルー



オス同士のキックボクシング



よこはま動物園

ズーラシア

横浜市旭区上白根町1175-1 TEL.045 (959) 1000
 開園時間／9:30～16:30(入園は16:00まで)
 休園日／火曜(祝日の場合は開園、翌日休園)

▶三ツ境駅または鶴ヶ峰駅からバスで約15分

最新の情報は、ズーラシアのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>



ズーラシアの動物たち ゴールデンターキン

ゴールデンターキンは、中国の山岳地帯に生息するウシ科の動物で、オスは成体になると毛が金色になることから「ゴールデン」の名が付きました。中国国家一級重点保護野生動物に指定されており、ジャイアントパンダと同じくらい大切にされている動物です。

日本では、ズーラシアを含め3カ所では飼育されていません。東京都の動物園から1月にやって来た「メイ」(メス・2歳)の一般公開も4月から始まりました。人懐っこい性格で、おてんばなところもある「メイ」に、ぜひ会いに来てください。



1月にやって来た「メイ」



よこはま動物園

ズーラシア

横浜市旭区上白根町1175-1 TEL.045 (959) 1000

開園時間／9:30～16:30(入園は16:00まで)

休園日／火曜(祝日の場合は開園、翌日休園)

▶三ツ境駅または鶴ヶ峰駅からバスで約15分

最新の情報は、ズーラシアのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>



2016年11月15日

ズーラシアの動物たち 〈アフリカのサバンナ 4種混合展示〉

ズーラシアの見どころの一つは、草食動物のグラントシマウマやキリン、エランドと、肉食動物のチーターの4種混合展示です。チーターは自分よりも体が小さな草食動物を獲物にするため、この4種で展示ができます。2016年11月に生まれたグラントシマウマの「ラン」は、今年3月から練習を始め、5月から毎日一緒に展示できるようになりました。近づく「ラン」をチーターが威嚇。逃げだす「ラン」をチーターが追い、気付いた「ラン」の家族がチーターを追い払う。そんな光景もご覧いただけます。日本ではここでしかご覧になれない4種混合展示をぜひ見に来てください。



チーター(左上)とグラントシマウマ(右下)



母親の「モトコ」(左)と「ラン」(右)



よこはま動物園

ズーラシア

横浜市旭区上白根町1175-1 TEL.045 (959) 1000

開園時間 / 9:30 ~ 16:30 (入園は16:00まで)

休園日 / 火曜 (祝日の場合は開園、翌日休園)

▶三ツ境駅または鶴ヶ峰駅からバスで約15分

最新の情報は、ズーラシアのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>



ズーラシアの動物たち アカアシドゥクラングール

アカアシドゥクラングールは東南アジアの熱帯雨林に群れで生息し、その体の色から「世界一美しいサル」とも呼ばれています。「アカアシ」の名の通り、赤毛の脚と真っ黒な瞳、真っ白で長い尻尾が目を引きます。密猟などで現在絶滅の危機に瀕（ひん）っていて、日本ではよこはま動物園ズーラシアでしか飼育していない希少な動物です。



来園20周年を
迎える「コイ」



ズーラシアで生
まれた子どもたち



よこはま動物園

ズーラシア

横浜市旭区上白根町1175-1 TEL.045 (959) 1000

開園時間／9:30～16:30（入園は16:00まで）

休園日／火曜（祝日の場合は開園、翌日休園）

▶三ツ境駅または鶴ヶ峰駅からバスで約15分

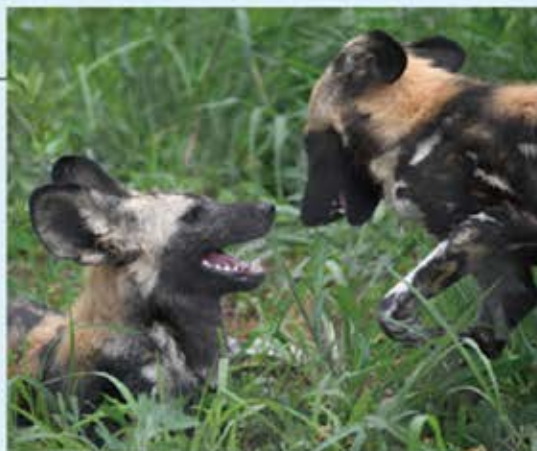
最新の情報は、ズーラシアのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>

ズーラシアの動物たち リカオン

リカオンは、アフリカのサバンナに群れで生息するイヌ科の動物。絶滅が危惧されていて、野生ではなかなか見ることができません。ハイエナによく間違えられますが、体重はハイエナのおよそ半分です。丸みのある大きな耳の動きには感情が表れるため、仲間と意思疎通を図る際に役立っています。細長い手足と白・黒・茶のまだら模様も特徴で、お客さまから「あ、三毛犬だ」と言われることも。群れの絆は強く、チームワークと持久力を武器に、狩りを高い確率で成功させるサバンナの優秀なハンターです。

ズーラシアでは、平成27年に生まれた4頭と、平成28年に生まれた6頭の赤ちゃんが、元気に育っています。

今年はいぬ年。日本では2カ所でしか飼育していない珍しいリカオンに、ぜひ会いに来てくださいね。



よこはま動物園

ズーラシア

横浜市旭区上白根町1175-1 TEL.045 (959) 1000

開園時間／9:30～16:30(入園は16:00まで)

休園日／火曜(祝日の場合は開園、翌日休園)

▶三ツ境駅または鶴ヶ峰駅からバスで約15分

最新の情報は、ズーラシアのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>